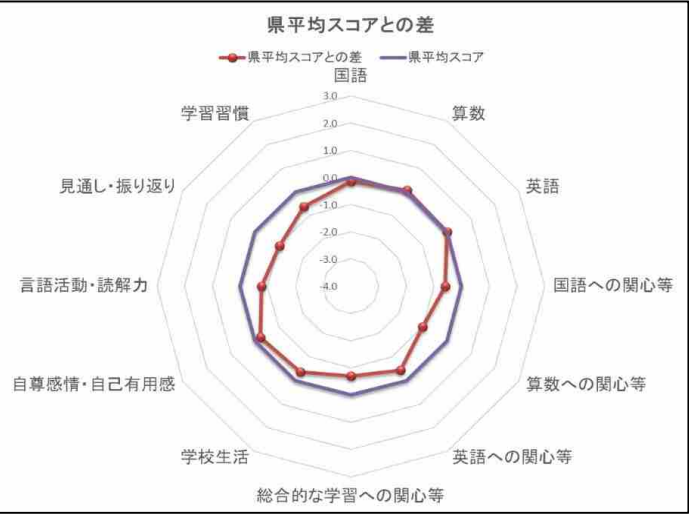
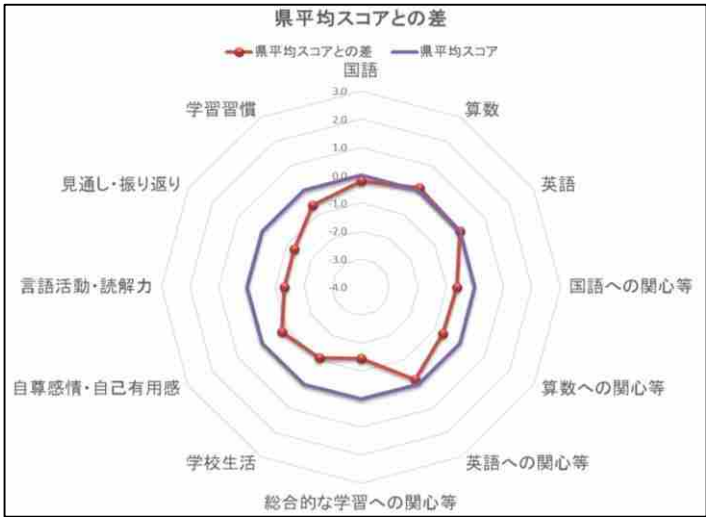


平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立八雲小学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○文章を比べて読むことの正答率が高い。 ●ローマ字を書くことが苦手な子がいる。 ●書く領域・記述式の解答に苦手意識がある。	・授業を中心に目的や条件を設定し、それをもとに書く活動を取り入れていく。 ・下学年の漢字についても復習していく。 ・ローマ字を継続的に指導していく。
	算数	○県、市の結果より高い正答率になった。 ○数と計算の領域の正答率がかなり高い。 ●数学的な考え方の領域の正答率がまだ低い。 ●量と測定の分野に苦手意識がある。	・基礎・基本に係ることをこれからも授業中に繰り返し確認しながら進める。 ・数学的な考え方に係る学習においては、具体物を示しながら状況把握ができる展開を行う。 ・課題設定を工夫した授業づくりを行い、算数が生活の中にある身近な学習であることに気づかせたい。
6年	国語	○漢字を正しく表記することが比較的できている。 ●文章を比べて読むことの正答率が低い。 ●ローマ字を書くことが苦手な子がいる。	・書き取り会、漢字ミニテストを継続して行う。 ・自主学習や朝自習などを利用し、ローマ字の復習の機会を増やす。 ・複数の資料からの情報を、関連づけて文章や表などに表現する学習活動を取り入れる。
	算数	○県、市の結果と同じ正答率になった。 ○数と計算の領域の正答率が高い。 ●算数が嫌いと思える子が多い。	・具体的な場面を取り上げる課題設定を行うことで、算数への興味・関心を高める。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	59	57
	松江市	63	55
	島根県	63	55

受検者数
5年生 67 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	64	60
	松江市	69	60
	島根県	67	59

受検者数
6年生 59 人

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

平成31年2月15日

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○将来の夢や希望を持っている子が多い。 ●自分の考えを発表する機会が持てていないと考える子が多い。	・自分の考えを持つための手立て(時間確保、ノート活用、ペア学習の活用など)をさらに進めていく。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習を平日1時間以上している児童が半数を超えている。 ●1日10分以上読書をしている子の割合が低い。	・学校の授業で学習したことを自主学習として復習する等、授業と家庭学習を上手にリンクさせる。 ・読書の魅力や重要性が感じられる設定を行い、読書量の確保を進める。
6年	授業改善に関わる事項	○将来の夢や希望を持っている子が多い。 ○学校図書館を活用するなどして、読書を1日10分以上する子が多い。 ●地域や社会の問題に関心を持っていない。	・各教科において地域や社会の問題にかかわるポイントを提示するなど、学習と子どもたちのまわりにある問題と結びつけた学習展開を行う。
	家庭学習に関わる事項	●家庭学習の時間1時間以上の項目が、県平均より20ポイント以上の開きがある。	・家庭との連携を図りながら、1時間を目標にした家庭時間の確保ができる工夫を行う。 ・中学校に向け、予習・復習の習慣を自習学習を通じて身につけさせる。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

